



かしこく・やさしく・たくましく

西中野

平成 29 年度 1 月 (476) 号
平成 30 年 1 月 9 日
中野区立西中野小学校
校長 岡本 賢二

教育目標

たくましく-克己(こっき)

校長 岡本 賢二

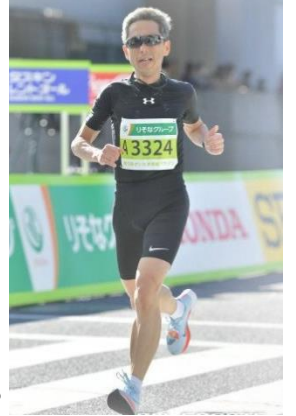
新年あけましておめでとうございます。今年ことしは天候てんこうにも恵まれ、穏やかなお正月しょうがつとなりました。新年を迎えるにあたり、本校教職員一同、子供たちのために全力を尽くす気持ちを新たにいたしました。本年も、本校へのご支援をどうぞよろしくお願ねがいいたします。

さて、新年にあたり、「克己」という言葉を子供たちに伝えたいと思います。

「克己」とは、「自分の弱じぶんのよわい心こころに勝かつ」ということです。私は、フルマラソンのランナーで、今年ことしの目標は、もちろん自己記録じこきろくの更新こうしんです。マラソンは42キロですから、1キロ1秒速く走れば、42秒記録が伸びます。しかし、たかが1キロ1秒。その1秒を削るためには、暖かい部屋でテレビを観ていては実現できませんから早朝10キロのランニングを日課にしています。外は身も凍る気温0度です。「今日は足が痛い」「体が重い」などと、すぐに休もうとしますし、実際に心が折れてサボることがあります。休む理由はたくさん見つけられますが、サボれば新記録は遠のきます。毎日走り続けることが正解かどうかわかりませんが、やると決めたのは自分です。やめたいという自分の弱よめい心こころに勝かつてこそ、はじめて自分の夢が実現できると信じて頑張っています。

この時期は、改めて一年間の夢や目標を確かめておくことが大切です。しかし、口だけで夢や目標を語っていても実現できません。なまけたい、楽をしたいという弱い自分に打ち勝つ「克己」の心を養ってこそ、夢や目標が近づきます。夢のために何をするのかという目標をもち、そして、やると決めたことをやり続ける行動力、つらいことから逃げない、ライバルはなまける自分、歯をくいしばってやり遂げる、そんな「たくましい人」になってほしいと思います。

あと一か月で、韓国の平昌で冬のオリンピックが開催されます。スピードやフィギュアスケート、スキージャンプなどでメダルが期待されますが、選手たちは今、「克己」の心で練習に励んでいることでしょう。華やかな活躍の陰には、どれだけの努力があったのかを想像しながら、ぜひ、応援してほしいと思います。教育目標「たくましく」を、改めて大切に作る年にしましょう。



一月の生活目標 「心のもったあいさつをしよう」 生活指導部

十二月の全校朝会の時、校長先生から、子どもたちに頑張ったほしいことのお話がありました。その中に「目をみて、おはよう」「お客さんに、こんにちは」をというあいさつについてのお話もありました。「おはようございます」「こんにちは」などのあいさつは、相手を笑顔にさせる魔法の言葉です。でも、あいさつに心がこもっていないと、相手は笑顔にはなりません。心のもったあいさつをするためには、校長先生のお話の通り、相手の目を見ることが大事です。お互いの目が合うと自然と笑顔になります。

心のもったあいさつが、学校中にあふれると、みんなが毎日、楽しく過ごせます。また、学校にはたくさんのお客さまもいらっしやいます。お客さまにも、恥ずかしながら目にしっかりと見て、心のもったあいさつをしましょう。

保健目標 「睡眠をしっかりとろう」

給食目標 「食べ物の旬を知ろう」